

無線電力伝送研究専門委員会10周年記念論文特集 論文募集案内(和文論文誌B)

無線電力伝送技術は、近接結合型においてはスマートフォンを含む様々な身の回りの機器のワイヤレス充電や電気自動車へのワイヤレス給電技術などが実用化されています。空間伝送型においては、地上での無線電力伝送応用や宇宙太陽光発電構想、さらには月面での無線電力ネットワークを見据えたマイクロ波・ミリ波送受電技術が盛んに研究開発されているとともに、日本では2022年に世界に先駆けて空間伝送型無線電力伝送の法整備がなされました。

この度、2013年に発足した無線電力伝送研究専門委員会の10周年を記念し、これまでの無線電力伝送技術を網羅的かつ体系的にレビューするとともに、最新の無線電力伝送研究成果の発表の場として、本小特集(2026年9月号)を企画しました。尚、この企画では、本分野の研究開発が活性化することを期待し、完成された研究成果だけでなく、研究速報・問題提起型のレター投稿も歓迎しますので、多くの皆様からの積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野:

[近接結合型無線電力伝送技術]

電磁誘導型無線電力伝送、電界結合型無線電力伝送、磁界結合型無線電力伝送、水中での無線電力伝送、送受間位置合わせ

[空間伝送型無線電力伝送技術]

遠方・近傍放射型無線電力伝送、長距離無線電力伝送、エネルギーハーベスティング、到来方向推定、レトロディレクティブ、バックスキタリング

[無線電力伝送のデバイス・回路技術]

増幅器・増幅回路、整流器・整流回路、結合器・結合回路、電力変換器・電力変換回路、半導体デバイス、電子管デバイス、アンテナ、RFID、電子タグ、無線電力伝送技術への機械学習・AI活用

[無線電力伝送システム]

電気自動車へのワイヤレス給電システム、移動体・飛翔体からの無線電力伝送システム、移動体・飛翔体への無線電力伝送システム、携帯端末・IoTデバイス・センサへの無線電力伝送システム、職場内・工場内での無線電力伝送システム、宇宙太陽光発電システム、無線電力伝送システムの宇宙利用、電力マネジメント、双方向給電

[無線電力伝送の共存性・安全性・法整備]

無線電力と無線情報通信の同時伝送技術、無線電力伝送の電磁環境共存性、無線電力伝送の安全性・生体への影響、無線電力伝送に関する法整備、無線電力伝送に関する標準化

[その他の無線電力伝送技術]

音波や光(レーザー)等による無線電力伝送技術およびシステム、など

2. 論文の執筆と取扱い

・論文の執筆、査読の取り扱い是一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。

https://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html

・原則として、論文は刷り上がり8ページ、レターは同2ページを標準とします。

・特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切: 2025年11月14日(金) 厳守

第1回判定通知: 2026年1月中旬

最終判定予定: 2026年4月中旬を予定

掲載料支払期限: 2026年5月15日

発行月: 2026年9月号

(本特集の論文は採録決定後、掲載料をお支払い頂くと直ちに早期公開されます。詳細は投稿のしおりを御参照下さい。)

4. 投稿方法

投稿は原則電子投稿とします。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx

にアクセスし、投稿原稿に関するデータの登録と、投稿原稿PDFファイル(4MBまで)並びに編集用電子ファイル(1ファイルにつき10MBまで)をアップロードし、Copyright Transfer and Page Charge Agreement の手続きをして下さい。なお、電子投稿が困難な場合は、

学会事務局<wabun-b@ieice.org>に御連絡下さい。

5. 特集編集委員会

【編集委員長】伊東 健治(金工大)

【編集幹事】関屋 大雄(千葉大)、西川 健二郎(鹿児島大)、三谷 友彦(京大)

【編集委員】居村 岳広(東京理科大)、篠原 真毅(京大)、鈴木 恭宜(岡山県立大)、田村 昌也(豊橋技科大)、羽賀 望(豊橋技科大)、日景 隆(北大)、平山 裕(芝浦工大)、松室 堯之(ATR)、山本 綱之(津山高専)

6. 連絡先

京都大学 三谷友彦

電話: 0774-38-3880

E-mail: mitani.tomohiko.3u@kyoto-u.ac.jp



電子情報通信学会

通信ソサイエティ

IEICE Communications Society

電子情報通信学会の論文誌に投稿しよう！

～非会員でも投稿が可能となりました～

（一社）電子情報通信学会が発行する和・英論文誌8誌とComEXにおいて、これまで、会員が1名著者にいることが投稿の条件でしたが、2021年4月1日から、著者全員が非会員であっても、投稿できることになりました^(注)。これを機にぜひ電子情報通信学会の論文誌にご投稿下さい。

詳細は各論文誌の投稿のしおりをご覧ください。

- 投稿のしおり https://www.ieice.org/jpn_r/submission/ronbunshi.html
- 投稿サイト(和文論文誌) https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx
- 投稿サイト(英文論文誌) https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx